

新市学区まちづくり推進委員会

委員長 河上 正次

（問い合わせ先）0847-52-5546（新市公民館）

事業内容

- (1) 地域防災避難訓練（11月22日）各町内会でそれぞれ実施
（12月）防災倉庫新設
- (2) 健康づくり（10月27日）「認知症を知ろう」研修 33人
（3月14日）史跡を訪ねて、歩け歩け運動 37人
- (3) まち興し（リーダー研修会）（7月22日）お互いさまミーティング 43人
地域福祉（リーダー研修会）（10月16日）淡路島北淡町地震記念館 13人
（12月6日）支えあいサミット in 福山（松永）1人
- (4) 地域づくり（3月25日）公民館サークルYouTube（ユーチューブ）配信
- (5) 記念植樹（2月22日）新市小学校卒業生タイムカプセル埋蔵 43人
- (6) 5・6年生しんいちドリーム（11月25日）
新市の30年後を創造 82人
- (7) 大佐山公園づくり 桜苗植樹（2月27日）7人
ボンボリ設置（3月14日）17人
花壇整備芝桜（6月20日）9人
- (8) 城山新春登山と互例会（元旦）150人
- (9) 春まつり（3月14日）地公園にボンボリ設置 17人
（3月28日）しんいち中央緑地公園大道芸、
春の写真コンテスト
- (10) 献血活動（4月5日）30人
- (11) 2020オリンピック記念事業（10月4日）
五輪・人文字のドローン撮影 201人
- (12) ヤングボランティアスクール（9月15日）4年生36人・福祉委員ほか50人
- (13) 一人ぐらしと介護者の集い（5月16日）マスク配布 105人（10月31日）食事会 53人
（11月20日）年賀状作成 105人
- (14) 広報誌しんいち藍まちづくり 特報&93号6月・94号10月・95号12月・96号3月全戸配付



「認知症を知ろう」研修



タイムカプセル埋蔵



春の写真コンテスト

成果

前年度に引き続き今年度も「コロナ禍」に於ける事業実施となり、中止・縮小等やむ負えない状況の中、計画の見直し・必要性など「まちづくり推進事業」の本来の目的・姿・方向性を問われる一年となった。まちづくり推進委員会を中心として、規制下における開催方法を検討し、概ね事業計画どおり実施できた。

課題

行事について参加の多くは高齢者で若年層はあまり関心が無いようである。今年度も「新型コロナウイルス」のまん延で事業の縮小や見直しをせざるを得なかった。持続可能な地域づくりのためには特定の人による運営ではなく、開かれたまちづくり、自由な意見交換ができるような体制に変えていく必要がある。

課題解決にむけて

当学区は「持続可能な地域コミュニティ形成モデル事業」の実施学区として、「地域づくり検討委員会・ガチャマンクラブ」で、地域課題解決に向けた原案作りを行ってきました。これを受けて「まちづくり推進委員会」では、構成団体の枠を超えまちづくりに熱い思いを持った人が自由に意見を出せる体制・仕組みづくりを進めていきたいと思っております。

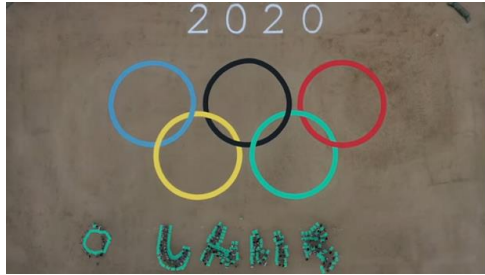
しんいち学区のまちづくり ～コロナ禍での取組～

YouTube（ユーチューブ）で動画配信

■2020記念事業

2020年10月4日新市小学校グラウンドで2020オリンピック人文字をつくり、ドローン撮影しました。

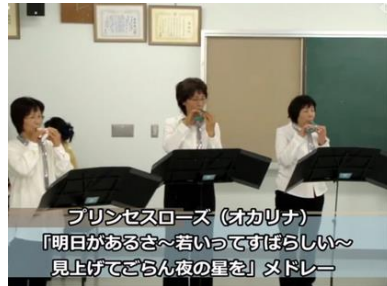
<https://youtu.be/Sh1hb2gtU1I>



■新市公民館 サークル・教室紹介

例年、成果発表としての公民館まつりイベントがコロナ禍で中止となりましたが、このような形でつたえることができ良かったです。ステージ発表、練習風景や作品の紹介など17のグループが動画で参加しています。

<https://youtube.com/playlist?list=PLN6KmjR010h0aBIJR8sTr7Tq1scE40CiK&si=VDrpjPs7iCwR>
APAG



健康ウォーキング

3月14日新市学区の史跡めぐり1コース（約4000歩）をのんびりと歩きました。感染予防に努めながらのウォーキングでしたが、自然の中を歩くことでとても心が癒されました。



写真コンテスト

しんいち学区の春をテーマに、明るく・楽しい・自慢の春を撮影した写真を募集しました。

高校生から80代の32作品の応募があり、委員長賞、金賞、銀賞、銅賞が選ばれました。



委員長賞
『春が来た～孫の花吹雪』
(場所：素戔鳴神社)